



安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校

学 校 便 り No.20

令和 7 年 10 月 20 日

文責：校長 齋藤和彦

全校遠足「カルチャーパークへ Go!」

異学年縦割班を通して育つ..姿

17日(金) 全校みんなの楽しみな日!
全校遠足「カルチャーパークへ GO!」

一年間の子ども達の育ちを意図的・計画的に教育活動に位置づけ、その成果を実感することで、更なる成長/育ちに向かう..教育的価値を含んだ本校の一大イベントです。

4月「1年生をむかえる会」において、異学年縦割班(なかよし班)が編成されます。~ここでは、1年生のみならず..班内の皆がドキドキです。(6年生の班長さんだって緊張)~日々の縦割清掃活動で下学年の子は、上学年のお兄さんお姉さんから雑巾の絞り方や水拭きの仕方、ほうきの使い方、水道の洗い方等を習い..「できたね」「上手になったね」「ありがとう」「うれしい笑顔」~清掃光景。~運動会:係活動に奔走する6年生を目に..「あっ、私の班長さんだ」(あこがれのまなざし)~昼の放送でアナウンスする高学年の声にも、「〇くんだよ。知ってるよ。班長だもん」ここでもやはり、下級生あこがれの姿です。

◇10/17 この日の「全校遠足」子ども達の姿[はじける笑顔]は、【安積二小ホームページ】に掲載中です。どうぞご覧ください。

...カメラを向けると..大好きな6年生の班長さんのポーズを真似ようとする1年生。「みんな、校長先生にピースして!」班員を前に..自分(班長)は後方から。(こんな班長も)※そんな班長さんの意気込み(心)や下級生の信頼の姿をそのまま映しました。☆よそ見もそのままです。それぞれの子のそのままの姿やワクワクした..その気持ちが Good!。

事前にカルチャーパークでの乗り物やお弁当後の遊びを各班で話し合いました。

「ジェットコースターは、ちょっと..」という子も当然います。先生方は、班(班長)の『判断・采配』にゆだねることとしました。

...見ていると、「大丈夫だよ。私も苦手だから下で見よう。」なんて話合いの結末に。。

(見事なものです..班長さん!)



☆ 大丈夫なのです。子どもだって互いの気持ちを十分に分かり合っています。いちいち大人が介入しなくても、うまくいく方法を見出すことができる力を持っているのです。



「つかれたあ~」「暑い~」「お茶飲みたい..」班長さんは、「もう少しがんばって!あそこで休もうね」~きつと、自分もクタクタに疲れているのに..リュックを持ってあげて、1年生が水筒のお茶を飲んだあとに、自分の給水。

暑さや疲れがでると、色々と困りごとがでてきますが、『子どもだから、あたり前』です。

こんな時、先生方は、なるべくちょっと距離をおいて、耳と心は大きく開けて、見ないふりして子ども達の自主性や子ども達同士の知恵を待ちます。(※さすがです!)

しばらくすると、ちゃんとうまういきます。

日常の子ども達のよい関係性の賜物です。

私達も、こんな子どもの姿から学び..子どもの力を信じて授業を創っていくこと、安積二小の子ども達の“よさ”を最大限に引き出す教育をめざしていきたいと考えています。

今年度はお弁当持参として..子ども達に託すの夢の時間の拡大と充実を図りました。

お弁当後には、芝生広場でたっぴりと遊びました。~鬼ごっこ、だるまさんがころんだ、ふかふかの芝生坂の上からコロコロ転がり..体育館では苦手だった“後ろ回り”が、できちゃいました!少々転んだって安心あんしん。...こんな実りの多い、全校行事の一日でした。

[手前味噌ですが]先生方の細部にわたる計画配慮と黒子的な的確で絶妙な支援..あつての子ども達の一日のはじける笑顔..あの表情..であったことをHP写真に付け加えます。

◆◆ 校長室より ◆◆

◇ユダヤの諺に こんな教えがあります
『 魚一匹与えれば 一日 もつ
魚の釣り方を教えれば 一生 もつ 』

学校でもこのような力を養う教育をめざします。少々の苦手や困難にも負けずに、自分の力で(時に仲間と協力して)生きていくための力です。

子どもが転ばないようにと、何かと先回りして大人が子どもの失敗や困難を回避する..愛情もあります。班の困りごと発生に..ちょっと遠目に、子ども達の判断や知恵にゆだねる『安積二小先生のかかわり』もあります。~「さすがあ~!」「いい判断だったね!」こんな言葉かけ(付き)